



文化 守屋多々志生誕110周年を迎えます

大垣市栄誉市民の画家・守屋多々志は、大正元年（1912年）8月、船町に生まれ、17歳で前田青邨に入門し、住み込みの書生として修業を積みながら、翌年に東京美術学校へ進学しました。

卒業後は日本美術院展を中心に作品を発表し、法隆寺金堂壁画や高松塚古墳壁画の再現模写事業等にも精力的に携わりました。やがて歴史画の画題に人の情愛、家族の絆といった普遍的テーマを見出し、さらに海外交流史など独自の現代的視点と構成で描き、昭和から平成の歴史画の第一人者として活躍し、平成13年には文化勲章を受章しました。

今年は画伯の生誕から110年を迎えます。3,000点以上の作品を管理する守屋多々志美術館は、多くの作品を見ていただけるよう、季節ごとに作品を入れ替え、企画展や特別展を開催しております。ぜひご来館ください。



みだれ髪(与謝野晶子)

奥の細道むすびの地記念館開館10周年の企画展が始まります

奥の細道むすびの地記念館では、「芭蕉の時代～俳諧好き大集合～」と題して、松永貞徳や西山宗因らが活躍した江戸時代初めの頃から松尾芭蕉の時代までの作品を、令和4年3月26日(土)から5月15日(日)まで展示します。

これは、昨年度、市に寄贈された堀尾家旧蔵俳諧資料を一堂に会する初の機会です。芭蕉直筆の「たび人」と「謡前書付句画賛」をはじめ、各俳人の貴重な直筆作品を多数鑑賞することができます。俳諧の魅力に取りつかれた江戸時代の人びとの作品を、ぜひご覧ください。



東藤画・芭蕉賛「たび人」 謡前書付句画賛



宗因筆 賦何路連歌百韻(冒頭部分)

新たな連携協定を結びました



スイトピアセンターのイベント映像の配信
(インターネット及びケーブルテレビ網による映像配信)

相手方 (株)大垣ケーブルテレビ
(公財)大垣市文化事業団



歴史文化施設等における展示物のガイダンスシステムの整備
(スマートフォン等による展示物の解説の聴取・閲覧)

相手方 早稲田システム開発株式会社
共立コンピューターサービス株式会社

大垣市教育委員会

〒503-8601 大垣市丸の内2丁目29
TEL(0584)47-8022(直通) FAX (0584)82-6385
Email : kyouikusyomuka@city.ogaki.lg.jp

ー 法務省 人権啓発キャッチコピー ー
「誰か」のことじゃない。
(「東京2020公認 人権啓発キャッチコピーコンテスト」最優秀作品)

油断せず 感染対策の継続を!
～手洗い マスク 人との距離～

みんなが学び交わり成長する 文教のまち大垣

大垣市教育委員会だより

はぐくみ

vol.19

発刊
令和4年
2月

西中学校・綾里小学校でタブレット端末を活用した授業を参観しました

11月24日(水)に、教育委員が西中学校を訪問し、タブレット端末を活用した授業を参観しました。

1年生の美術では、お面を粘土でつくる授業が行われました。生徒は、作品をタブレット端末で撮影し、制作過程を確認しながら表現の変化を確かめたり、写真を「オクリンク(学習アプリ)」で大型モニターに送ることによって、画面に映し出されたクラスの仲間の作品を確認し合ったりするなど、ICTを効果的に活用した授業が行われました。

教育委員からは、「タブレット端末を使いながら一生懸命相手に伝えようとする姿は、とても感動した。」や「制作中の作品を撮影して履歴を残しておくなど、タブレット端末のメリットを活かした授業だと感じた。」などの意見がありました。



また、1月26日(水)には、教育委員が綾里小学校を訪問し、授業を参観しました。

6年生の体育・跳び箱運動の授業では、タブレット端末で撮影した自分の動きを見て課題を確認し、その課題にあった練習方法をグループのメンバーと話し合い、取り組みました。授業の後半では、お互いの動きをタブレット端末で撮影し合い、できるようになったことを振り返り、次の授業の課題を見つけていました。

教育委員からは、「タブレット端末を活用して、1人ひとりが自分に合った課題で、それぞれに工夫した練習をして意欲的に学んでおり、素晴らしい授業であった。」や「自分たちの動きを客観的に見ながら、お互いをフォローし合う姿がとても良いと感じた。」などの意見がありました。

今後も学校訪問を通して教育現場の状況等を把握し、教育行政の充実に努めてまいります。





学校

「ふるさと大垣科」の学習をさらに充実させます

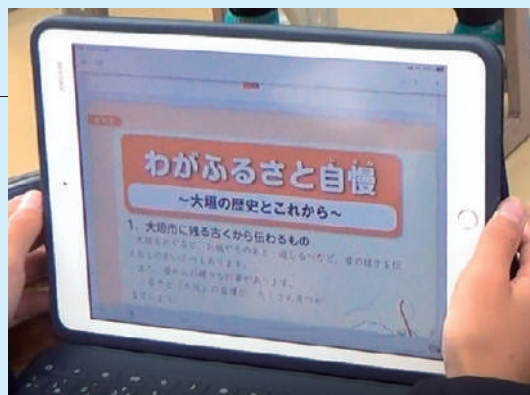
市では、「文教のまち大垣」の次代を拓く人づくりを目指すため、児童生徒が「ふるさと大垣」に愛着と誇りを持ち、大垣のすばらしさを語ることができるよう、平成27年度から「ふるさと大垣科」を実施しています。

1 「ふるさと大垣科」の教科書をデジタル化します

児童生徒がそれぞれのタブレット端末で活用できるよう、教科書を改訂に併せてデジタル化し、より効率的に学ぶことができるようにします。

具体的な活用方法は…

- 教科書に掲載してある写真や図を拡大して見られるようになります。
- 紙に文章や資料を写し取る作業をしなくても、タブレット端末に映し出して発表活動や交流活動等ができるようになります。



2 「ふるさと大垣科」を平日に実施(土曜授業を廃止)します

これまでは月1回の土曜授業で学習していたため、児童生徒の学びの意識や意欲が途切れてしまうことや、施設の活用や地域講師等の確保が難しいことがありました。そこで、授業を平日に実施し、他教科や行事等との関連性・連続性を持たせた計画的な学習ができるようにします。

各学期のスタートが変わります

長期休業明けは、生活のリズムがつかみにくいことがあり、特に2学期は学校行事が多く、夏休み明けから多忙な学校生活が始まります。そのため、各学期のスタートを緩やかにし、学校生活をより円滑に開始できるように変更します。

学期	変更内容	給食
1学期	初日は始業式と学級活動等のみの半日授業とします。	なし
2学期	学期初めの3日間を午前授業とします。 初日は始業式と学級活動等のみの午前授業とします。	あり
3学期	初日は始業式と学級活動等のみの午前授業とします。	あり

夏休みは8月28日までとなります

土曜授業の廃止と、各学期のスタートの変更に伴い、必要な授業時間数を確保するため、現在は8月31日までとなっている夏休みを、8月28日までとします。



俳句

ふるさと大垣句集を作成しました

ふるさと大垣句集「むすびの地 大垣」が完成しました。

松尾芭蕉は、「俳諧は三尺の童にさせよ」という言葉を残しています。「大人になると俳句をうまくつくろうという気持ちが働いてしまう。子どものつくる俳句を見習いなさい。」という弟子への教えだそうです。

芭蕉の言葉どおり、小学校1年生から中学校3年生までの皆さんから寄せられた俳句は、どれもこの1年の思い出や成長・発見が詰まったすてきなものばかりでした。

「ふるさと大垣科」の俳句学習では、自分のまわりの季節の変化や「うれしかったこと」「かなしかったこと」などをもとに、学年に応じた方法で俳句をつくります。できた俳句は、言葉や語順を入れ替えて推敲していくので、同じ事柄をよんでも、全く違った味わいの俳句が出来上がります。一人ひとりの「今」を、この十七音に閉じ込めているようです。

この句集には、選句会で選ばれた438句が掲載されており、小中学校の全クラスに配付します。

十七音にこめた作者の思いを想像して楽しんだり、今後の俳句づくりに生かしたりするために役立ててください。



大垣市マスコットキャラクター
おがっきい



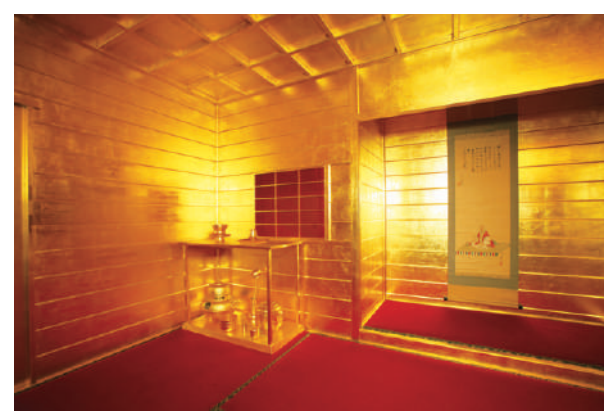
文化

墨俣一夜城(墨俣歴史資料館)で「夢のまた夢 黄金の茶室展」を開催しています

墨俣一夜城築城455年・墨俣一夜城(墨俣歴史資料館)開館30周年を迎えたことから、墨俣一夜城において、京都市が所蔵する「黄金の茶室」を借用し、令和4年5月29日(日)まで、「夢のまた夢 黄金の茶室展」を開催しています。

黄金の茶室は、豊臣秀吉が大阪城内に造らせたと言われ、運搬が可能な組み立て式の茶室で、当時の文献を参考に、茶室の壁・天井・柱・障子のほか、台子をはじめとする茶道具一式も金張りにし、再現されています。

天下人である太閤秀吉の栄華を極めた「黄金の茶室」を楽しんでいただくとともに、その出世の足がかりとなった墨俣の魅力に触れていただく機会となれば幸いです。



黄金の茶室・茶道具(京都市蔵、撮影:山木田時夫、佐賀県立名護屋城博物館提供)